第23回 令和7年度
全日本ゼネラルチャンピオン賞
全国1位――ダイヤモンドマーク賞

吉岡 明鳩舎（千葉連盟・下総中央連合会）

全国デビューで日本一！ ピジョンドリームここに！

吉岡　明鳩舎（下総中央連合会）のプロフィール

- 鳩　　歴：56年　・レース歴：55年
- 鳩舎規模：種鳩 4坪66羽
  選手鳩 3坪100羽
- 主力系統：今田俊児鳩舎の飛び筋、横山茂男鳩舎の飛び筋、山口習明鳩舎の飛び筋、地元の飛び筋他
- 代表翔歴：25年地区N総合優勝

25年春Rgからの参加羽数：51羽

マークは、選鳩眼を競い合うゲームのようなイメージが強いものの、実際は自鳩舎参加羽数、鳩舎位置といった鳩レース特有のハンデが可能な限り排除されているため、実力面が大きく反映される。そのため鳩レースの本場であるベルギーのナショナルタイトルの多くが、このマークシステムを導入。うち最高賞にあたるオールラウンド部門の「ゼネラルCH賞」に倣って設立されたのが、当協会の「全日本ゼネラルCH賞」だ。ゆえに協会最高賞の「日本優秀鳩舎賞」と同じく〝日本一の競翔家を決めるタイトル〟である。

23回目を迎える令和7年度は、全国からの申請が10鳩舎に止まり「申請＝受賞」となったことが影響し、ボーダーは歴代最低得点の「4」。しかも〝絶対王者〟こと及川 茂鳩舎（新日本）不在の賞レースとなった。大波乱となった今回だが、相変わらず実力派ばかりがランクインを果たし、全国1位である「ダイヤモンドマーク賞」には、レース歴50年以上の大ベテラン・吉岡 明鳩舎（下総中央）が選出。〝全国デビューで日本一〟というピジョンドリームを実現した。

獲得ポイント 9pt

合計入賞率：074／99

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	①23LB03387	BC	♀	1,873羽	38位	0.02029
	②22LB07537	BCW	♀	1,873羽	43位	0.02296
	③23LB03324	BC	♀	1,873羽	111位	0.05926
地区N	④23LB03387	BC	♀	1,193羽	32位	0.02682
	⑤23LB03324	BC	♀	1,193羽	54位	0.04526
	⑥22LB07537	BCW	♀	1,193羽	167位	0.13998
GP	⑦23LB03387	B	♀	744羽	99位	0.13306
	⑧22LB07537	BCW	♀	744羽	138位	0.18548
桜花賞	⑨22LB07537	BCW	♀	241羽	26位	0.10788

全国 1位
初受賞

マーク賞は吉岡 明鳩舎（下総中央）に決定――！

“絶対王者”不在の大波乱！超実力派たちを抑え伏兵が1位！

03年よりスタートした「全日本ゼネラルチャンピオン賞」は、マークを対象とするタイトルである。しかしただ「当たり外れ」を楽しむだけでなく、ハンディキャップが絡みあうピジョンスポーツにとって、公平に“真の実力”を測ることのできる「日本一決定戦」でもあるのだ。なぜならマークとなれば、自鳩舎の参加羽数が限定されるため、鳩舎規模の大小による不公平が解消。また規程も順位を反映させるのではなく、「～%内」に入賞したら「1点」といったポイント制を採用することで、地域による差も最小化される。どれほど地理や鳩舎規模のハンデがあろうが、全日本ゼネラルCH賞の規程となる「20%内」で見ると、充分に入賞が可能だからだ。

マークシステムは本場・ベルギーのナショナルタイトルにも通じており、オールラウンド部門の「ゼネラルCH賞」は、最高賞として君臨している。「全日本ゼネラルCH賞」はこのタイトルに倣って設立されたため、当協会でも最高賞である「日本優秀鳩舎賞」と並ぶ存在となるはずだったが…。残念ながらブランド化がうまくいかず、影が薄くなってしまった。しかし近年、競翔家たちの熟成によるものなのか、タイトルの価値が再評価され、「日本優秀鳩舎賞」や「ブロックCH賞」経験者など“然るべき”強豪たちがこのタイトルに続々と挑戦しはじめている。結果、これまで「6点」に停滞していたボーダーも「7点」に引き上がるほど、明らかなレベルアップの様相を呈していた。

が、令和7年度の「全日本ゼネラルCH賞」はその流れが一変した。申請が10鳩舎に止まっただけでなく、21年ぶりに歴代最低得点――4点がボーダーとなったのである。さらにダイヤモンドマーク賞13回の“絶対王者”及川 茂鳩舎（新日本）の姿なし、という大波乱まで巻き起こったのだ。とはいえ、当人はボーダーこそクリアしていたものの、シーズン直後に体調不良で入院し、気持ちが大きく弱っていたようで、「今回のポイント数では受賞できない」と判断。申請しなかったというのが真相のようだ。

殿堂者不在という状況の中、彼に変わり頂点に立ったのは、**吉岡 明鳩舎（下総中央）**。新井 繁鳩舎（埼玉北辰）、鈴木 隆鳩舎と冨田欣宏鳩舎（2鳩舎とも埼玉北葛）、森川浩吉鳩舎（上総）といった「日本優秀鳩舎賞」受賞経験ありの超実力派たちを抑えて、“もう一つの日本一”に輝いた。

吉岡鳩舎は、小学5年から鳩レースに参加し、中断したのは1年だけ。今年67歳であり、そのキャリアは50年を優に超える大ベテランだ。総合優勝経験こそあるとはいえ、協会タイトルとは無縁であり、今回が全国デビューとなる。まさに伏兵によるジャイアントキリングとなったわけだが、ピジョンスポーツを含め勝負事においてこれぞ最大の醍醐味！　吉岡鳩舎も本稿での発表で、絶大な達成感と喜びを味わうことになるであろう。

成鳩を絶対条件に4つのデータを参考にマーク！

吉岡鳩舎は「全日本ゼネラルCH賞」に過去何度か挑戦したことがあったものの、全て感覚頼み。それゆえか、「1度目は当たっても2度目は外れる」という経験を何度も味わってきた。手法の見直しを考えたのは昨年。同じ連合会である市瀬順章鳩舎のゴールドマーク賞受賞がきっかけだったという。

「再開とはいえまさか2年で全国タイトルを獲ってしまうとは驚きました。これは負けていられないと思い、どうやったらマークを的中させられるのか、真剣に考えました」。

そこでこれまでの受賞傾向を徹底分析。「成鳩」であることを絶対条件に、さらに4つのデータをもとにセレクトを行った。

一つ目は**「過去の成績」**である。Rg、地区N、GPの3レースで上位入賞をしているかをポイントとした。

2つ目は**「系統」**である。「中距離～長距離」に強いことを前提に成績との因果がマッチしているかどうかをチェックした。

3つ目は**「全兄弟の在舎状況」**である。1年目の春の終了時点で何羽残っているかを調べ、理想は「50%以上」とした。

最後の4つ目は**「換羽のスピード」**である。時期が早いということは、その分健康状態が良いと判断できる。吉岡鳩舎にとって理想は「10月」とのことだ。

これら4項目を参考に自鳩舎成鳩陣をランキングし、上位3羽を「マークチーム」として選抜。第1マークが地区N総合29位（24年）の「23LB03387」、第2マークがGP連盟7位（23年）の「22LB07537」、第3マークがRg総合180位（24年）の「23LB03324」となった。

またシーズン途中での脱落もありうるため、リザーブを1羽を選び、計4羽でゼネラルCH用のチームを形成。そして前述のような反省点からよほどのコンディション不良、産卵、未帰還、負傷といったアクシデントがない限り、レギュラー陣だけで勝負するというマイルールも課した。

戦略見事に的中！レギュラー3羽で9点獲得！

そして吉岡鳩舎は全国トップとなる「9点」を獲得。全てレギュラー陣による成果だった。中でも第2マークの**「22LB07537」**は、Rg（②）、地区N（⑥）、GP（⑧）、桜花賞（⑨）全てでポイントを手にしており、見事パーフェクトを達成！　一方の第1本命は桜花賞こそ産卵によって参加を見送ったものの、Rg（①）、地区N（④）、GP（⑦）でマークチームでは常に1番手で打刻し、エースとしての大役を果たした。さらに全兄弟が今年の地区Nで総合優勝。“配合的にアタリ”という望外の喜びも手にしている。

第3マークは桜花賞では未帰還となるも、当初の勝負所であるRg（③）と地区N（⑤）ではきちんとミッションをクリア。いずれも複数ポイントを獲得しており、結果論となるが、マークタイトルとAPの連動性までも証明

ポイントゲッター総覧

②Rg　1,873羽中総合 43位
⑥地区N1,193羽中総合167位
⑧GP　744羽中連盟138位
⑨桜花賞 241羽中総合 26位

ベストポイントゲッター！

22LB07537　BCW　♀
吉岡 明鳩舎 作翔
＊23年GP優勝
連盟417羽中７位

→21HK09398　BC　久保田邦雄 作
　→12HK08331　B　久保田 作
　　“ラスベガス・キング”(“ブリクセム”の孫＆
　　“ヴィットバイク”近親)×
　　“ラスベガス・キング”の異母姉(“ブリクセム”の孫)
　→NL14-1462339　リヒテ　コープマン父子 作
　　→NL10-1109552　BC　コープマン父子 作
　　全姉の直仔／“オイシェ”(09年ベルジアンマスターFINAL優勝・
　　エースピジョン賞１位)
　　→“ジカラ” NL07-4736465　BC　コープマン父子 作翔
　　ボクステルP優勝、アブリスNPO10,725羽中４位他
　　孫／“マヌー”(ブールジュN703K優勝、シャトローN754K優勝)
→21SC05363　B　横山茂男作　全兄弟／200K総合３位
　→NL14-1489107　BC　アルヤン・ビーンズ 作
　　“ミスターベルジュラック”(“OMG”の父)の直仔×
　　(“サリナ”の孫×ダックスN優勝の“ヤンダー”の娘)
　→NL15-1810561　BW　スヴェルツ 作
　　“ロード・メイシェ”(ブリーブN優勝／“OMG”全妹)の直仔×
　　(ペルピニャンN２位＆下記“OMG”の異父兄弟“スネレ・イェレ”×
　　オリンピアード超長距離部門世界１位の“OMG”)

①Rg　1,873羽中総合38位
④地区N 1,193羽中総合32位
⑦GP　744羽中連盟99位

23LB03387　B　♀　吉岡 明鳩舎 作翔
＊24年春地区N1,378羽中総合29位
Rg1,982羽中総合124位
全妹／25年地区N1,193羽中総合優勝
→22LB07459　BC　今田俊児 作
全姉の娘／21年春Rg1,869羽中総合優勝他
　→DV05837-15-877　BC
　2,579羽中36位、1,514羽中75位
　“カノン”のライン×“カースブール”の孫
　→NL16-1761494　B
　クロアチア委託鳩舎ファイナルレース3位
　ブールジュFCL優勝×優勝3回
→19-080472(20年生)　B　山口習明 作
全兄弟／21年伊賀・国際親善400K優勝、
17年同・国際サクセス200K２位
全兄弟の直仔／19年八郷・国際ウィナー300K10位
　→B11-6339705　B
　ナチュラル・ブリーディングステーション 作
　純ファンダイク系
　“ランボー”近親
　→B11-6339379　BC
　ナチュラル・ブリーディングステーション 作
　純ファンダイク系
　“ランボー”近親

③Rg　1,873羽中総合111位
⑤地区N1,193羽中総合54位

23LB03324　BC　♀　吉岡 明鳩舎 作翔
＊26年300K2,340羽中総合59位
25年春Rg1,982羽中総合180位
300K2,458羽中総合131位
→18SC10854(19年生)　BC　横山茂男 作
　→NL05-4271841　BCW　ファンデベルグ 作
　“レディ・ベルジュラック”(サンバンサンN優勝・
　ベルジュラックN６位)の直仔
　→10SA02161　BC　横山 作
　“フェルメウレン191”の３重近親
→20-019665　B　菅原 明 作
　→B16-6034284　BC　ヨス・ファンオルメン 作
　“ド・ポー”(ポーN７位)×“プレイボーイバルセロナ”のライン
　→B14-6043742　B　ヨス・ファンオルメン 作
　“スーパークラック”(カオールP優勝２回、ポーP優勝)の全兄×
　3/4G・デブークト系
　全兄／“デン・ナルボンヌ”
　(ナルボンヌN３位／INエースピジョン賞１位)

した形だ。

ともあれ彼の戦略は見事に的中。大いに参考になる戦いぶりであったが、むろんこれは戦力ありき、である。ポイントゲッターの血統背景を見ての通り、ヨーロッパの旬の飛び筋ばかりで構成されている。

吉岡鳩舎は60歳の年に定年を意識したことで、ピジョンスポーツに本腰をいれ始めると、次々と新たな種鳩を導入。とりわけ横山茂男氏（中京）経由の輸入系は、自分好みの鳩質ばかりだったとのことで、今回のポイントゲッターにも2羽彼作が絡んでいる。うち〝パーフェクト〟を果たしたベストに流れるアルヤン・ビーンズの〝オリンピック・ミスガイシェ（〝OMG〟）〟の血は、かの有名なイェレマを中心にINレースの優入賞鳩が多数輩出されており、ここ日本においても今年、東日本CH総合優勝を誕生させたことは記憶に新しい。やはり鳩レースは、ブラッドスポーツなのである。

全国デビューで、ベルギーでいうところの「ナショナルCH」となった吉岡鳩舎。その規模やキャリアの歩みは決して特別ではない。実力ありきとはいえ、誰にでも起こりえるサクセスストーリーでもあるのだ。ゆえに全国の競翔家にとって大きな励みになるであろう。

その一方で全日本ゼネラルCH賞は「競翔」、「作出」、「血統」というピジョンスポーツ特有の要素に「戦略」まで加えた、知的かつプロフェッショナル――「真の日本一決定戦」にふさわしきタイトルであることも、改めて実証するものとなった。

第23回 令和7年度 全日本ゼネラルチャンピオン賞 全国2位――プラチナマーク賞

全国 2位 2回目

獲得ポイント 8pt

鈴木　隆鳩舎
（埼玉連盟・埼玉北葛連合会）

計入賞率：0.50077

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	①22KA30724	BC	♀	7,405羽	317位	0.04281
	②23KA14228	B	♀	7,405羽	552位	0.07454
	③23KA14005	B	♀	7,405羽	1078位	0.14558
地区N	④23KA15866	B	♀	5,511羽	70位	0.01270
	⑤23KA14228	B	♀	5,511羽	90位	0.01633
	⑥22KA30724	BC	♀	5,511羽	172位	0.03121
GP	⑦22KA30724	BC	♀	3,227羽	184位	0.05702
桜花賞	⑧22KA30724	BC	♀	1,443羽	174位	0.12058

成鳩のパワーで2年連続！

「日本最優秀鳩舎賞」をはじめ、数々の栄光をつかんできた**鈴木隆鳩舎（埼玉北葛）**は、昨年より全日本ゼネラルチャンピオン賞に本格参戦を果たしている。チャレンジ1年目にして9点をマークして全国2位――プラチナマーク賞に選出。しかも4点獲得というパーフェクトポイントゲッターまで誕生させた。本年度は前年より1点少ない8点でフィニッシュ。ダイヤモンドマーク賞の本命に数えられながらも、2年連続でプラチナマーク賞に輝く。

選定方法は前年と同じ。実績高き成鳩に絞り、今年は5羽の精鋭でこの賞レースに挑んでいる。うち4羽が貢献した上、「22KA30724（①⑥⑦⑧）」にいたっては、なんとパーフェクトを達成！　ちなみにこの1羽は、前年も「GN」が対象であったなら「日本AP賞」受賞必至の成績を収めており、まさしくスーパーゼネラリストといったところだ。

昨年の「スーパーエクセレントピジョン」認定に象徴される通り、近年鈴木鳩舎ではAPタイプが続々と誕生している。マークタイトルの親和性からすると2年連続「日本2位」という結果は然るべきである上、3度目の正直――「ダイヤモンドマーク賞」の受賞も決して夢物語ではない。

ポイントゲッター総覧

①Rg　7,405羽中総合317位
⑥地区N　5,511羽中総合172位
⑦GP　3,227羽中総合184位
⑧桜花賞1,443羽中総合174位
ベストイントゲッター！

22KA30724　BC　♀　鈴木 隆鳩舎 作翔
＊シルバーエクセレントピジョン

- 15KA05878　BC　鈴木・新井共同 作
  - “白鶴グランプリ”　新井 繁 作翔
    13年GP総合優勝
    総理大臣賞南関東地区1位の直仔
  - “ハイパークィーン”　BCW　細谷利一 作翔
    地区N700K7,447羽中総合優勝
- 14KA14695　BC　鈴木 隆 作
  - “レジョ17” 08KA35872　B　鈴木 作翔
    Rg総合17位　600K総合優勝の異母兄
  - 04KA38750　BC　鈴木 作
    “キャノンボーイ”(600K総合優勝)×
    “スプリングストーム”(600K総合優勝)

②Rg　7,405羽中総合552位
⑤地区N5,511羽中総合　90位

23KA14228　B　♀　鈴木 隆鳩舎 作翔

- 21KA02508　BC　鈴木 隆 作
  - “R8” 17KA14080　BC　鈴木 作翔　Rg総合8位
    母／“CHメモリアルクイン”
    (13年東日本CH当日総合3位)
  - “キャノンスター” 18KA05314　BC　鈴木 作翔
    19年KBDB会長賞連盟1位(全国2位相当の入賞率)
    母／“ジャパンクィーン”(09年JC総合優勝)×
    “キャノンボーイ”
- 21KA04296　B　鈴木 隆 作
  “ミラクルチャンピオン”(18年東日本CH総合優勝)の娘

③Rg7,405羽中総合1078位

23KA14005　B　♀　鈴木 隆鳩舎 作翔
＊全姉／**スーパーエクセレントP・日本AP賞全国5位**

- 16KA39322　BC　鈴木 隆 作
  “ビクトリー600”(14年600K7,573羽中総合優勝)の直仔
- 19LC10205　B　KANDA LOFT 作
  “カースプール”重近親
  “ベルナルド”(平成千葉連盟Rg総合優勝&**会長賞**)の娘

④地区N5,511羽中総合70位

23KA15866　B　♀
中村勝治鳩舎 作出　鈴木 隆鳩舎 使翔
＊24年桜花賞総合12位

- 19HE08351　BC　和地光尚 作翔
  21年東日本CH総合18位
  全兄弟／JC900K連盟優勝
- 18KA06778　BC　鈴木 隆 作
  “ミラクルチャンピオン”の娘

鈴木　隆鳩舎(埼玉北葛連合会)のプロフィール

鳩　　歴：55年　**レース歴**：55年
鳩舎規模：種鳩18坪120羽・選手鳩18坪220羽
主力系統：エースピジョントリプルライン、スプリングストームライン
代表翔歴：日本優秀鳩舎賞7回（＊最優秀1回）、
日本AP賞、ブロックCH賞、東日本CH総合優勝 他
25年春Rgからの参加羽数：125羽

第23回 令和7年度 全日本ゼネラルチャンピオン賞 全国3位——ゴールドマーク賞

全国3位 2回目

獲得ポイント 7pt

杉田政雄鳩舎
（北陸南連盟・福井県連合会）

合計入賞率：0.38071

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	①21RB06014	BC	♀	1,226羽	146位	0.11909
	②22RB03634	B	♀	1,226羽	18位	0.01468
地区N	③21RB06014	BC	♀	530羽	14位	0.02642
	④22RB03634	B	♀	530羽	59位	0.11132
	⑤23RB02109	BC	♀	530羽	26位	0.04906
GP	⑥23RB02109	BC	♀	99羽	4位	0.04040
桜花賞	⑦21RB06014	BC	♀	152羽	3位	0.01974

黄金世代が導いたゴールドマーク！

杉田政雄鳩舎（福井県）は、グランドスラムまで残り1レース。連盟優勝となればすでに達成しているほどの実力派として知られる。「全日本ゼネラルCH賞」が目標とのことで、昨年初授賞を達成。そして2年連続7点を獲得すると、今回は全国3位——ゴールドマーク賞に選出される。

過去の成績を参考に成鳩メインでマークチームを形成。前年の地区N総合優勝鳩までメンバー入りするほどハイレベルなものだった。結果、ポイントを獲得したのは3羽。うちベストを挙げるとしたら、3ポイントゲットした「21RB06014（❶❸❼）」であろう。この1羽は23年に日本AP賞候補にあがったゼネラリストであり、昨年は同賞において同じく3点を獲得している。そして今年4歳になりながらも前述の成果の他に「総理大臣賞連盟1位」に選出。「全距離に強い」というマークタイトル、かつレース鳩においても理想型といったところだ。

他2羽は自身の系統〝文殊〟一族であり、今年の成果から「シルバーエクセレントピジョン」に認定された「22RB03634（❷❹）」は、23年に日本AP賞全国1位に選出された〝文殊連峰号〟の全兄弟である。

上位2鳩舎と同じくマークタイトルとAPの融和性を証明してのベスト3入りとなったわけだが、チームとして熟成された「黄金世代」が導いた「ゴールドマーク賞」だったといえよう。

ポイントゲッター総覧

ベストポイントゲッター！

❶Rg 1,226羽中総合146位
❸地区N530羽中総合 14位
❼桜花賞152羽中総合 3位

〝スイートスプリング号〟
21RB06014 BC ♀ 杉田政雄鳩舎 作翔
＊シルバーエクセレントP、連盟銘鳩賞
25年内閣総理大臣賞・協会賞杯連盟1位
23年KBDB会長賞連盟3位、連盟AP賞3位

- 16KA29358 B 中島雅春 作
  - 15LK06777 BC 黒田哲夫 作
    〝G.CHアズマゴールデンガール〟の直仔
  - 14KA12079 中島 作
- 16RB03460 BC 杉田政雄 作
  - 07DA61744 BC 香山光男 作
    〝バルセロナ・ランボーⅡ〟×〝オルハン・ミラ〟の娘
    直仔／稚内GN総合17位 孫／Rg総合優勝
  - 〝R.CHトップエイト号〟 DC 杉田 作翔
    稚内GN総合8位・92位、桜花賞48位
    〝ドリームトップ〟（稚内GN連盟優勝）の孫

❷Rg 1,226羽中総合18位
❹地区N530羽中総合59位

〝文殊みちびき号〟
22RB03634 B ♀ 杉田政雄鳩舎 作翔
＊シルバーエクセレントピジョン
全姉妹／〝文殊連峰号〟（23年日本AP賞全国1位）

- 18RB03637 BWFT 杉田政雄 作
  - 16RB03674 BC 杉田 作翔 18年GP総合21位
  - 〝夢いちりん〟16RB03629 B 杉田 作翔
    18年稚内GN総合優勝 曾孫／❺❻
- 15RB01969 BC 杉田政雄 作
  04年東日本稚内GN総合優勝の直仔×
  〝バルセロナランボーⅡ〟の曾孫

❺地区N530羽中総合26位
❻GP 99羽中連盟4位

〝文殊かがやき号〟
23RB02109 BC ♀ 杉田政雄鳩舎 作翔
＊24年地区N600K総合優勝

- 23RB03900 S 河野・仲下共同 作
  - 10RB05342 B 河野孝敏 作翔 Rg総合15位
    100K優勝（純ファンローン）の直仔
  - 20RB01238 RC 仲下作 河野 使翔 桜花賞総合4位
    6162号（下記〝文殊連峰号〟の同系）の孫
- 22RB04054 BCWP 杉田政雄 作
  - 19RB02152 BC 杉田 作
    6162号（上記）の全兄弟×4141号
  - 21RB06162 B 杉田 作
    6162号（上記）の直仔×〝夢いちりん〟（18年稚内GN総合優勝）
    全兄の娘／〝文殊連峰号〟（23年日本AP賞全国1位）

杉田政雄鳩舎（福井県連合会）のプロフィール

鳩　歴：65年　**レース歴**：60年
鳩舎規模：種鳩13坪120羽・選手鳩7.5坪180羽
主力系統：文殊一族
代表翔歴：日本AP賞全国1位、GN、桜花賞、地区N、Rg各総合優勝
25年春Rgからの参加羽数：85羽

ンピオン賞 ベストマーク賞 全国4位～10位

全国4位 4回目 新井　繁鳩舎
（埼玉連盟・埼玉北辰連合会）

最高ポイント 7pt
合計入賞率：0.39457

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	22KA00086	B	♂	7,405羽	847位	0.11438
地区N	22KA00086	B	♂	5,511羽	153位	0.02776
	23KA20526	B	♀	5,511羽	271位	0.04917
	23KA15286	BC	♀	5,511羽	382位	0.06932
GP	22KA00086	B	♂	3,227羽	10位	0.00310
	23KA15286	BC	♀	3,227羽	89位	0.02758
桜花賞	22KA00086	B	♂	1,443羽	149位	0.10326

全国5位 2回目 森川浩吉鳩舎
（千葉東連盟・上総連合会）

最高ポイント 7pt
合計入賞率：0.52108

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	24LK05569	PB	♂	5,108羽	771位	0.15094
地区N	24LK05553	W	♀	4,247羽	100位	0.02355
	24LK01840	BC	♂	4,247羽	80位	0.01884
GP	24LK01824	B	♂	2,915羽	546位	0.18731
	24LK01840	BC	♂	2,915羽	128位	0.04391
桜花賞	24LK01840	BC	♂	1,181羽	81位	0.06859
	24LK01793	B	♀	1,181羽	33位	0.02794

全国6位 初受賞 小沢幸夫鳩舎
（埼玉連盟・埼玉吉川連合会）

最高ポイント 7pt
合計入賞率：0.86068

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	23KA13142	B	♀	7,405羽	1381位	0.18650
	23KA13025	B	♀	7,405羽	1088位	0.14693
	24KA06533	B	♀	7,405羽	458位	0.06185
地区N	24KA06453	DC	♀	5,511羽	568位	0.10307
GP	24KA06419	BC	♀	3,227羽	411位	0.12736
	24KA07205	BC	♀	3,227羽	349位	0.10815
桜花賞	23KA14556	BC	♀	1,443羽	183位	0.12682

全国7位 3回目 熊谷好修鳩舎
（北陸南連盟・福井県連合会）

最高ポイント 6pt
合計入賞率：0.13100

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	22RB04114	BC	♂	1,226羽	8位	0.00653
	23RB02749	BC	♀	1,226羽	9位	0.00734
	23RB02725	BC	♂	1,226羽	56位	0.04568
地区N	23RB02725	BC	♂	530羽	1位	0.00189
	23RB02749	BC	♀	530羽	2位	0.00377
桜花賞	23RB02749	BC	♀	152羽	10位	0.06579

全国8位 初受賞 長坂隆志鳩舎
（埼玉連盟・埼玉北辰連合会）

最高ポイント 6pt
合計入賞率：0.35041

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	23KA22572	BC	♀	7,405羽	67位	0.00905
	24KA15954	B	♂	7,405羽	440位	0.05942
地区N	23KA22582	BC	♂	5,511羽	83位	0.01506
	22KA02889	BW	♀	5,511羽	409位	0.07422
桜花賞	23KA22572	BC	♀	1,443羽	13位	0.00901
	23KA22581	BC	♀	1,443羽	265位	0.18365

第23回 令和7年度 全日本ゼネラルチャ

全国 9位 4回目

冨田欣宏鳩舎
（埼玉連盟・埼玉北葛連合会）

獲得ポイント 5pt

合計入賞率：0.54232

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	22KA31015	BC	♀	7,405羽	137位	0.01850
地区N	22KA31015	BC	♀	5,511羽	458位	0.08311
	23KA15241	BC	♀	5,511羽	920位	0.16694
	23KA15242	BC	♀	5,511羽	1081位	0.19615
桜花賞	23KA15217	BC	♀	1,443羽	112位	0.07762

写真は管理を担当する母親の斉藤恵子氏

全国 10位 初受賞

斉藤文紀鳩舎
（北海道南部連盟・全函館連合会）

獲得ポイント 4pt

合計入賞率：0.41429

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	24AB00098	BC	♂	458羽	16位	0.03493
	22AB04627	BW	♀	458羽	76位	0.16594
	24AB03806	BC	♂	458羽	88位	0.19214
地区N	24AB00093	B	♂	141羽	3位	0.02128

全日本ゼネラルチャンピオン賞・データ

全日本ゼネラルチャンピオン賞受賞回数（3回以上）

17回			
	及川　茂鳩舎		東京中・新日本連合会
6回			
	大高　繁鳩舎		未所属／つくばね・北つくば連合会
	吉村　和道鳩舎		北関東栃木・宇都宮中央連合会
	黒田　哲夫鳩舎		未所属／千葉東・上総連合会
5回			
	吉田　三男鳩舎		愛知静岡・東愛知連合会
	磯島　保博鳩舎		瀬戸内・瀬戸内連合会
	鈴木　信義鳩舎		東京東・東京南部連合会
4回			
	横地　光彦鳩舎		静岡・静岡県連合会
	橋本三紀男鳩舎		兵庫県・しらさぎ西連合会
⬆	新井　繁鳩舎	NEW!	埼玉・埼玉北辰連合会
⬆	冨田　欣宏鳩舎	NEW!	埼玉・埼玉北葛連合会
3回			
	加賀　邦彦鳩舎		宮城北部・一関連合会
	鳥海　武鳩舎		埼玉・埼玉幸手連合会
	鶴岡　英明鳩舎		未所属／千葉東・成田連合会
	丹羽　和一鳩舎		賛助
	杉山　幸正鳩舎		未所属／静岡・静岡中央連合会
	白井　行弘鳩舎		愛知静岡・東愛知連合会
	加藤　正祝鳩舎		東海・東海連合会
	藤井　孝彦鳩舎		北陸南・福井県連合会
⬆	熊谷　好修鳩舎	NEW!	北陸南・福井県連合会

※所属は25年時点

全日本ゼネラルCH賞歴代受賞ボーダーポイント

年	ポイント	年	ポイント	年	ポイント
2025年	4	2017年	6	2009年	6
2024年	7	2016年	5	2008年	6
2023年	7	2015年	7	2007年	6
2022年	7	2014年	6	2006年	6
2021年	6	2013年	5	2005年	7
2019年	6	2012年	6	2004年	4
2018年	6	2010年	6	2003年	5

ダイヤモンドマーク賞歴代受賞鳩舎

年	受賞者	所属	ポイント	入賞率
2025年 NEW!	吉岡　明鳩舎	千葉・下総中央連合会	9	0.74099
2024年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	9	0.36820
2023年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	10	0.68364
2022年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	10	0.44014
2021年	吉村和道鳩舎	北関東栃木・宇都宮中央連合会	8	0.56056
2020年	――コロナ禍による春レース中止で授賞なし――			
2019年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	9	0.42927
2018年	新井　繁鳩舎	埼玉・埼玉北辰連合会	9	0.54017
2017年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	8	0.24776
2016年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	9	0.28629
2015年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	9	0.31482
2014年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	9	0.52200
2013年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	8	0.25992
2012年	横地光彦鳩舎	静岡・静岡県連合会	8	0.59994
2011年	――――授賞なし―――――			
2010年	吉田三男鳩舎	愛知静岡・東愛知連合会	9	0.93155
2009年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	10	0.40588
2008年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	9	0.40910
2007年	大高　繁鳩舎	東坂東・茨城県西連合会	8	0.33733
2006年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	10	0.29797
2005年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	10	0.20747
2004年	今井雅之鳩舎	兵庫県・姫路連合会	10	0.14929
2003年	今井雅之鳩舎	兵庫県・姫路連合会	9	0.11162

※所属連合会は当時

全日本ゼネラルチャンピオン賞歴代ベスト10(2003~2025年)

※所属連合会は当時　※2011年と2020年は授賞なし

第16回　2018年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会	9点
2位	古西　正二鳩舎	東総連合会	8点
3位	佐々木　優鳩舎	由利連合会	8点
4位	矢島圭一郎鳩舎	京浜横須賀連合会	7点
5位	李　根浩鳩舎	川崎連合会	7点
6位	黒田　哲夫鳩舎	上総連合会	7点
7位	渡辺　仁志鳩舎	瀬戸内連合会	7点
8位	石井　敏男鳩舎	京浜横須賀連合会	7点
9位	鈴木　信義鳩舎	東京南部連合会	6点
10位	熊谷　好修鳩舎	福井県連合会	6点

第17回　2019年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	9点
2位	青柳　良雄鳩舎	平塚中央連合会	9点
3位	岩田　義幸鳩舎	尾張連合会	9点
4位	小川安都志鳩舎	東金C連合会	8点
5位	古西　正二鳩舎	東総連合会	7点
6位	鈴木　邦由鳩舎	北総連合会	7点
7位	黒田　哲夫鳩舎	上総連合会	7点
8位	小黒　良作鳩舎	長岡中央連合会	6点
9位	藤井　孝彦鳩舎	福井県連合会	6点
10位	北澤　理鳩舎	上総連合会	6点

第18回　2020年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	10点
2位	冨田　欣宏鳩舎	埼玉北葛連合会	8点
3位	横地　光彦鳩舎	静岡県連合会	8点
4位	三宅　良治鳩舎	岡山中央連合会	8点
5位	比留川道夫鳩舎	西湘連合会	7点
6位	望月　一鳩舎	大静岡連合会	7点
7位	齋藤　勝志鳩舎	ニュー仙南連合会	7点
8位	中村　豊鳩舎	紀泉連合会	7点
9位	山口　宣之鳩舎	ニュー東京連合会	7点
10位	藤原多功磨鳩舎	杜連合会	7点

第19回　2021年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	吉村　和道鳩舎	宇都宮中央連合会	8点
2位	住谷　勝三鳩舎	豊中連合会	7点
3位	国持　和義鳩舎	大静岡連合会	7点
4位	冨田　欣宏鳩舎	埼玉北葛連合会	7点
5位	黒田　哲夫鳩舎	上総連合会	7点
6位	鈴木　斉鳩舎	東金C連合会	7点
7位	飛田　輝明鳩舎	茨城北連合会	6点
8位	米田幸由司鳩舎	なんば連合会	6点
9位	古里　治彦鳩舎	京都雅連合会	6点
10位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	6点

第20回　2022年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	10点
2位	冨田　欣宏鳩舎	埼玉北葛連合会	8点
3位	横地　光彦鳩舎	静岡県連合会	8点
4位	三宅　良治鳩舎	岡山中央連合会	8点
5位	比留川道夫鳩舎	西湘連合会	7点
6位	望月　一鳩舎	大静岡連合会	7点
7位	齋藤　勝志鳩舎	ニュー仙南連合会	7点
8位	中村　豊鳩舎	紀泉連合会	7点
9位	山口　宣之鳩舎	ニュー東京連合会	7点
10位	藤原多功磨鳩舎	杜連合会	7点

第21回　2023年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	10点
2位	ピグマリオンロフト	常総中央連合会	8点
3位	吉田　哲夫鳩舎	三浦半島連合会	7点
4位	本橋　博美鳩舎	多摩東部連合会	7点
5位	伊藤　和芳鳩舎	静岡県連合会	7点
6位	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会	7点
7位	藤原多功磨鳩舎	杜連合会	7点
8位	加賀　邦彦鳩舎	一関連合会	7点
9位	高橋　茂雄鳩舎	三浦半島連合会	7点
10位	山口　宣之鳩舎	ニュー東京連合会	7点

第22回　2024年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	9点
2位	鈴木　隆鳩舎	埼玉北葛連合会	9点
3位	市瀬　順章鳩舎	下総中央連合会	8点
4位	石川　誠二鳩舎	川崎連合会	8点
5位	ピグマリオンロフト	常総中央連合会	7点
6位	杉田　政雄鳩舎	福井県連合会	7点
7位	冨田　欣宏鳩舎	埼玉北葛連合会	7点
8位	松井　誠鳩舎	杜連合会	7点
9位	藤井　孝彦鳩舎	福井県連合会	7点
10位	塩田ロフト	大千葉連合会	7点

NEW!

第23回　2025年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	吉岡　明鳩舎	下総中央連合会	9点
2位	鈴木　隆鳩舎	埼玉北葛連合会	8点
3位	杉田　政雄鳩舎	福井県連合会	7点
4位	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会	7点
5位	森川　浩吉鳩舎	上総連合会	7点
6位	小沢　幸夫鳩舎	埼玉吉川連合会	7点
7位	熊谷　好修鳩舎	福井県連合会	6点
8位	長坂　隆志鳩舎	埼玉北辰連合会	6点
9位	冨田　欣宏鳩舎	埼玉北葛連合会	5点
10位	斉藤　文紀鳩舎	全函館連合会	4点

第8回　2010年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	吉田　三男鳩舎	東愛知連合会	9点
2位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	8点
3位	橋本三紀男鳩舎	しらさぎ西連合会	7点
4位	村松　敏夫鳩舎	静岡中央連合会	7点
5位	伊達　順一鳩舎	青岩連合会	7点
6位	北野　雅雄鳩舎	北総連合会	6点
7位	磯島　保博鳩舎	瀬戸内連合会	6点
8位	横地　光彦鳩舎	静岡中央連合会	6点
9位	新保　信行鳩舎	南北海道連合会	6点
10位	藤田　淳一鳩舎	セントレア連合会	6点

第9回　2011年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	9点
2位	吉田　三男鳩舎	東愛知連合会	8点
3位	橋本三紀男鳩舎	しらさぎ西連合会	7点
4位	村瀬　正成鳩舎	東海連合会	7点
5位	渡辺　正明鳩舎	水沢連合会	7点
6位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	6点
7位	神谷　中鳩舎	尾張連合会	6点
8位	岩崎　達弘鳩舎	静岡県連合会	6点
9位	荒井　孝治鳩舎	横浜西部連合会	6点
10位	鈴木　信義鳩舎	東京南部連合会	6点

第10回　2012年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	横地　光彦鳩舎	静岡県連合会	8点
2位	吉田　三男鳩舎	東愛知連合会	8点
3位	橋本三紀男鳩舎	しらさぎ西連合会	7点
4位	村瀬　正成鳩舎	東海連合会	7点
5位	渡辺　正明鳩舎	水沢連合会	7点
6位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	6点
7位	神谷　中鳩舎	尾張連合会	6点
8位	岩崎　達弘鳩舎	静岡県連合会	6点
9位	荒井　孝治鳩舎	横浜西部連合会	6点
10位	鈴木　信義鳩舎	東京南部連合会	6点

第11回　2013年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	8点
2位	吉田　三男鳩舎	東愛知連合会	8点
3位	藤井　孝彦鳩舎	福井県連合会	8点
4位	関根　英次鳩舎	埼玉北葛連合会	7点
5位	小黒　良作鳩舎	長岡中央連合会	6点
6位	早乙女節夫鳩舎	ニュー横浜連合会	6点
7位	吉村　和道鳩舎	宇都宮中央連合会	6点
8位	加藤　正祝鳩舎	東海連合会	6点
9位	矢内　富夫鳩舎	横浜西部連合会	6点
10位	新井　繁鳩舎	埼玉北辰連合会	5点

第12回　2014年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	9点
2位	加藤　正祝鳩舎	東海連合会	8点
3位	柳田　雅幸鳩舎	佐原連合会	7点
4位	北野　雅雄鳩舎	北総連合会	7点
5位	松井　和憲鳩舎	静岡吉田連合会	7点
6位	吉村　和道鳩舎	宇都宮中央連合会	6点
7位	鈴木　信義鳩舎	東京南部連合会	6点
8位	橋本三紀男鳩舎	しらさぎ西連合会	6点
9位	中田　幸雄鳩舎	埼玉南部連合会	6点
10位	逢坂　晴広鳩舎	上磯連合会	6点

第13回　2015年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	9点
2位	磯島　保博鳩舎	瀬戸内連合会	8点
3位	吉村　和道鳩舎	宇都宮中央連合会	8点
4位	前田　均鳩舎	杜連合会	7点
5位	小池　一誠鳩舎	三重第二連合会	7点
6位	吉田　三男鳩舎	東愛知連合会	7点
7位	青柳　良雄鳩舎	平塚中央連合会	7点
8位	森川　浩吉鳩舎	上総連合会	7点
9位	黒田　哲夫鳩舎	上総連合会	7点
10位	内田　忠男鳩舎	埼玉幸手連合会	7点

第14回　2016年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	9点
2位	望月　一鳩舎	大静岡連合会	8点
3位	白井　行弘鳩舎	東愛知連合会	8点
4位	鈴木　信義鳩舎	東京南部連合会	7点
5位	熊谷　好修鳩舎	福井県連合会	7点
6位	澤田　正道鳩舎	杜連合会	6点
7位	黒田　哲夫鳩舎	上総連合会	6点
8位	尾形　雅好鳩舎	宇都宮東連合会	6点
9位	逢坂　晴広鳩舎	上磯連合会	5点
10位	細田　公雄鳩舎	埼玉三芳連合会	5点

第15回　2017年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	8点
2位	鈴木　信義鳩舎	東京南部連合会	7点
3位	磯島　保博鳩舎	瀬戸内連合会	7点
4位	福岡　薫鳩舎	横浜西部連合会	7点
5位	小池　一誠鳩舎	三重第二連合会	7点
6位	小田　義光鳩舎	埼玉北辰連合会	7点
7位	黒田　哲夫鳩舎	上総連合会	6点
8位	浜田　充弘鳩舎	三重第二連合会	6点
9位	大橋　憲夫鳩舎	岐阜県連合会	6点
10位	伊東　正徳鳩舎	新中日本連合会	6点

第1回　2003年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	今井　雅之鳩舎	姫路連合会	9点
2位	鶴岡　英明鳩舎	成田連合会	9点
3位	大高　繁鳩舎	茨城県西連合会	8点
4位	古西　正美鳩舎	東総連合会	8点
5位	尾形　雅好鳩舎	宇都宮東連合会	6点
6位	菅原　一典鳩舎	盛岡連合会	6点
7位	古川　順一鳩舎	市川南連合会	6点
8位	丹羽　和一鳩舎	三重第三連合会	6点
9位	浪内　豊代鳩舎	上毛連合会	5点
10位	長浜　三平鳩舎	茨城東連合会	5点

第2回　2004年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	今井　雅之鳩舎	姫路連合会	10点
2位	大高　繁鳩舎	茨城県西連合会	8点
3位	藤田　淳一鳩舎	尾張連合会	6点
4位	柏田　隆鳩舎	ニュー盛岡連合会	6点
5位	鶴岡　英明鳩舎	成田連合会	5点
6位	小川　和男鳩舎	成田連合会	5点
7位	桑原　次郎鳩舎	三重第三連合会	5点
8位	佐々木和彦鳩舎	ニュー盛岡連合会	5点
9位	菅原　正則鳩舎	岩手中央連合会	4点
10位	菊地　文昭鳩舎	水沢連合会	4点

第3回　2005年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	10点
2位	今井　雅之鳩舎	姫路連合会	9点
3位	大高　繁鳩舎	茨城県西連合会	8点
4位	磯島　保博鳩舎	瀬戸内連合会	8点
5位	加賀　邦彦鳩舎	一関連合会	7点
6位	村松　功鳩舎	埼玉北葛連合会	7点
7位	川森　旭鳩舎	三重第三連合会	7点
8位	丹羽　和一鳩舎	三重第三連合会	7点
9位	鳥海　武鳩舎	埼玉幸手連合会	7点
10位	山本　清司鳩舎	大静岡連合会	7点

第4回　2006年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	10点
2位	大高　繁鳩舎	茨城県西連合会	9点
3位	秋山　剛史鳩舎	埼玉北葛連合会	7点
4位	中村　淳鳩舎	静岡県連合会	7点
5位	杉山　幸正鳩舎	静岡中央連合会	6点
6位	丹羽　和一鳩舎	三重第三連合会	6点
7位	鶴岡　英明鳩舎	成田連合会	6点
8位	加賀　邦彦鳩舎	一関連合会	6点
9位	菊地　博信鳩舎	ニュー仙南連合会	6点
10位	高山　初夫鳩舎	中京連合会	6点

第5回　2007年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	大高　繁鳩舎	茨城県西連合会	8点
2位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	7点
3位	鳥海　武鳩舎	埼玉幸手連合会	7点
4位	安藤　正彦鳩舎	中日本連合会	7点
5位	菊地　文昭鳩舎	水沢連合会	7点
6位	白井　行弘鳩舎	東愛知連合会	6点
7位	杉山　幸正鳩舎	静岡中央連合会	6点
8位	尾崎　允俊鳩舎	東海連合会	6点
9位	赤塚　石生鳩舎	三重第三連合会	6点
10位	永谷　準一鳩舎	みかわ連合会	6点

第6回　2008年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	9点
2位	田嶋　弘鳩舎	三重第一連合会	8点
3位	大高　繁鳩舎	茨城県西連合会	7点
4位	吉村　和道鳩舎	宇都宮中央連合会	7点
5位	吉田　三男鳩舎	東愛知連合会	7点
6位	永井　勇鳩舎	新日本連合会	7点
7位	杉山　幸正鳩舎	静岡中央連合会	7点
8位	丹羽　吉三鳩舎	三重第五連合会	7点
9位	磯島　保博鳩舎	瀬戸内連合会	7点
10位	望月　洋志鳩舎	大静岡連合会	6点

第7回　2009年

順位	鳩舎名	所属連合会	ポイント
1位	及川　茂鳩舎	新日本連合会	10点
2位	白井　行弘鳩舎	東愛知連合会	9点
3位	加藤　正祝鳩舎	東海連合会	8点
4位	橋本三紀男鳩舎	しらさぎ西連合会	7点
5位	佐々木一男鳩舎	岩手中央連合会	6点
6位	吉村　和道鳩舎	宇都宮中央連合会	6点
7位	横地　光彦鳩舎	静岡中央連合会	6点
8位	木村　和男鳩舎	三重第三連合会	6点
9位	菅原　正則鳩舎	岩手中央連合会	6点
10位	鳥海　武鳩舎	埼玉幸手連合会	6点